

決算特別委員会の審査から

病院、水道、下水道、バス、地下鉄の各事業の11年度決算を審査する公営企業決算特別委員会は、9月21日から審査に入り、22日から局別の質疑、28、29日に決算書類の調査、10月2日に市長・副市長に対する総括質疑を行い、10月11日に賛否取りまとめの委員会を開きました。そして、同日の本会議で委員長から審査の経過と結果を報告しました。その主なものを掲載します。



環境ホルモン対策の取組
ホームページの充実など市民へのPRの強化
バス事業
乗合バス事業の規制緩和に向けた取組状況
100円循環バスの現状と今後の取組
バスの走行環境改善の取組
バス路線見直しに当たっての市民の意見聴取の必要性
管理の受委託実施による効果と今後の実施に当たっての考え
リコール隠しに対する毅然とした対応
定期観光バスの事業推進の取組
地下鉄事業
東西線六地蔵延伸工事の進捗状況
府からの補助金の確保
六地蔵延伸工事の分劃発注の妥当性
東西線西伸の進捗状況と天神川周辺地域の整備
交通事業全般
平成11年度決算の経営健全化計画(プログラム21)への影響
市全体の交通体系の中での公営交通事業の在り方の検討

更なる職員削減の考え
積極的な営業活動の実施
スルッとKANSAI加入に伴う乗客増効果及びJRへの加入の働き掛け



スルッとKANSAI都カード

常任委員会の審査から
上下水道料金
の改定議案などを審査
常任委員会は9月8日から10月11日にかけて開かれ、付託議案や請願などを審査しました。そのうち、建設消防委員会に審査を付託した京都高速道路新十条通の基本計画の変更に関する議案については、9月19日の本会議で、また交通水道委員会に審査を付託した水道料金、下水道使用料、疏水の水の使用料の改定議案3件については、10月11日の本会議で、各委員長からそれぞれ審査の経過と結果を報告しました。その主な概要を掲載します。

主な質疑項目
建設消防委員会
当初計画策定時の十分な事前調査の必要性
工法変更による事業費増額の内訳
用地買収の促進
市会が付けた付帯決議要旨
この度の基本計画の変更は、事業費が大幅に膨張するもので、事前調査の在り方と事業計画の甘さを指摘せざるを得ない。また、用地買収が遅れ、完成が1年遅れることも遺憾である。阪神高速道路公団に、二度と変更のないよう強く申し入れるとともに、市として工期、工費の十分な管理点検と、用地買収の確実な実施に取り組みること。なお、利用料金も市民の利用しやすい料金体系とするよう、同公団と協議を進めること。(賛成多数)

水道事業
職員に対する服務規律の徹底
安全でおいしく安い水道水の積極的なPRの実施
基金活用の必要性
下水道事業
汚水資本費補助金の拡充
大型事業における再評価システム活用
都市浸水対策の取組
探択した請願(厚生委員会)
地域福祉・老人福祉施設の早期建設

お知らせ
11月定例会の日程
11月定例会は11月14日に開会されることになりました。平成11年度一般会計決算の審議などを行います。11月20日と21日の本会議において代表質問を行い、12月14日に開会する予定です。三宅島に見舞金を贈りました
大きな被害をもたらした三宅島の災害に対して京都市では、市会議員全員による災害見舞金を贈ることを決め、9月27日に市会議長から東京都議会議長に、100万円の見舞金が届けられました。

市会が決算に付けた意見(要旨)

【水道事業及び下水道事業】
1 建設改良事業における多額の繰越しが目立っている。このことは、事業計画に対する信頼性を揺るがすものにならない。
的確な事業の推進を図るとともに執行率の向上に努め、確実に計画を達成するよう一層努力すること。賛成多数
2 水道事業では、渇水時対策、水質保全に、下水道事業では、都市浸水対策、高度処理、加えて、耐震対策に多大の建設費用を要し、その企業債の元利償還が同事業財政を圧迫している。このため、国に対し、高率の企業債を低利なものに借換えができるなど、一層の財政支援と対策を求めると。全会一致
【バス事業】
1 今なお、増加するマイカーによって、市自動車運送事業は、直接的な乗客の減少以外にも渋滞等による表定速度低下、定時運行の困難性から、一層乗客離れを加速している。
市は策定中の京都市基本計画の中に、公共交通機関優先の都市政策を打ち出すことを急ぐとともに、当面国及び関係諸機関に対し、走行環境改善の施策の推進を一層強く求めること。全会一致
2 服務規律に関しては、未だ市民の信頼を損ねる事故が後を絶たず、誠に遺憾である。
服務規律による一層の指導徹底を全局挙げて取り組み、市民に信頼される自動車運送事業となるよう努めると。賛成多数
【バス事業及び地下鉄事業】
11年度決算における旅客数が、経営健全化計画(プログラム21)における見通しを下回ったことは、今後の計画推進に大きな影響を及ぼすものとなることは必至である。全職員がプログラム21の重要性をしっかりと認識するよう局を挙げて取り組むことが重要である。
乗客増対策の効果分析を徹底して行い、より戦略的な施策を講ずること。賛成多数

普通及び公営企業予算・決算特別委員会の正副委員長が決定
(正式会派名は下の会派名簿を参照)

委員会	委員長	副委員長
普通	大西 均 (自民・左)	繁 夫(自民・伏) 佐藤 和夫(共産・伏) 安孫子 和子(民・中) 久保 省二(公明・西)
公営企業	坂口 芳治 (共産・伏)	橋村 芳和(自民・伏) 梅林 等(民・南)

上下水道料金
の改定議案などを審査
常任委員会は9月8日から10月11日にかけて開かれ、付託議案や請願などを審査しました。そのうち、建設消防委員会に審査を付託した京都高速道路新十条通の基本計画の変更に関する議案については、9月19日の本会議で、また交通水道委員会に審査を付託した水道料金、下水道使用料、疏水の水の使用料の改定議案3件については、10月11日の本会議で、各委員長からそれぞれ審査の経過と結果を報告しました。その主な概要を掲載します。

主な質疑項目
建設消防委員会
当初計画策定時の十分な事前調査の必要性
工法変更による事業費増額の内訳
用地買収の促進
市会が付けた付帯決議要旨
この度の基本計画の変更は、事業費が大幅に膨張するもので、事前調査の在り方と事業計画の甘さを指摘せざるを得ない。また、用地買収が遅れ、完成が1年遅れることも遺憾である。阪神高速道路公団に、二度と変更のないよう強く申し入れるとともに、市として工期、工費の十分な管理点検と、用地買収の確実な実施に取り組みること。なお、利用料金も市民の利用しやすい料金体系とするよう、同公団と協議を進めること。(賛成多数)

お知らせ
11月定例会の日程
11月定例会は11月14日に開会されることになりました。平成11年度一般会計決算の審議などを行います。11月20日と21日の本会議において代表質問を行い、12月14日に開会する予定です。三宅島に見舞金を贈りました
大きな被害をもたらした三宅島の災害に対して京都市では、市会議員全員による災害見舞金を贈ることを決め、9月27日に市会議長から東京都議会議長に、100万円の見舞金が届けられました。

連絡・お問い合わせは
市会事務局調査課
2222 3697